

病 院 (減床) 事 前 協 議 書

(一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院)

2-2. 増床の内容に関する事項 (六甲アイランド甲南病院)

(1) 基本的事項

名 称	一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院	
開 設 の 場 所	神戸市東灘区向洋町中 2-11	
増 改 築 予 定 年 月	平成 34 年 4 月	
診 療 科 目	旧	内科/循環器内科/神経内科/外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/産婦人科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/歯科口腔外科
	新	循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/精神科/消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/産婦人科/形成外科/麻酔科/歯科口腔外科/病理診断科/救急科
病 床 数	旧	307床 (一般 307床・療養 0床・精神 0床・結核 0床)
		病床機能区分 (医療法施行規則第 30 条の 33 の 2) による分類 許可病床数 307床 (平成 26 年度病床機能報告) (高度急性期 8床、急性期 299床、回復期 0床、慢性期 0床) 稼働病床数 269床 (平成 26 年度病床機能報告) (高度急性期 8床、急性期 261床、回復期 0床、慢性期 0床)
	新	許可病床数 307床 (平成 27 年度病床機能報告) (高度急性期 8床、急性期 254床、回復期 45床、慢性期 0床) 稼働病床数 253床 (平成 27 年度病床機能報告) (高度急性期 8床、急性期 211床、回復期 34床、慢性期 0床)
		181床 (一般 181床・療養 0床・精神 0床・結核 0床)
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	(3階病棟) 1室 8床 利用率 24.2% 特定集中治療室管理料
		(4階病棟) 8室 21床 利用率 0.0%
		(5階病棟) 14室 37床 利用率 45.8% 小児入院医療管理料
		(6階病棟) 20室 50床 利用率 76.3% 7対1入院基本料
		(7階病棟) 20室 50床 利用率 66.9% 7対1入院基本料
		(8階病棟) 20室 50床 利用率 71.6% 7対1入院基本料
	新	(9階病棟) 19室 46床 利用率 82.6% 7対1入院基本料
		(10階病棟) 20室 45床 利用率 46.6% 地域包括ケア病棟入院料
		(6階病棟) 19室 37床 利用率 85.0% 回復期リハ病棟入院料
		(7階病棟) 19室 37床 利用率 85.0% 地域包括ケア病棟入院料
		(8階病棟) 19室 37床 利用率 85.0% 10対1入院基本料
		(9階病棟) 20室 35床 利用率 85.0% 地域包括ケア病棟入院料

		(10階病棟) 20室 35床 利用率 85.0% 地域包括ケア病棟入院料		
増床の理由及び 病床数設定の考え方	基準看護又は新看護の内容		病床の利用内容に記載	
	規則第30条の32第1項の規定による特例		無	
	甲南病院に記載			
敷地の状況 (増築する場合)	面積	4,957 m ²		
	自己所有予定の場合	取得の状況	取得済 ・ 取得交渉中 ・ 未交渉	
		交渉状況		
	自己所有予定でない場合	所有者		
		使用形態	賃貸借 ・ その他 ()	
他法令解除の必要性	有 ・ 無 内容 ()			
建物の状況 (増築する場合)	構造概要	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 地下1階・地上13階建 延床面積 21,957 m ²		
	所有予定者	一般財団法人 甲南会		
	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他 ()		

(2) ー1 施設及び構造施設に関する事項 (六甲アイランド甲南病院変更前)

法定施設	診察室	27ヶ所 約 334 m ² (科目: 内科/循環器内科/神経内科/外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/産婦人科/リハビリテーション科/放射線科/歯科口腔外科)		
	処置室	10ヶ所 約 161 m ² (科目: 内科/循環器内科/神経内科/外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/小児科/精神科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/産婦人科/リハビリテーション科/放射線科/歯科口腔外科)		
	手術室	3ヶ所 約 111 m ²	臨床検査施設	4ヶ所 約 259 m ²
	エックス線装置	5台		
	調剤所	1ヶ所 約 90 m ²	消毒施設	1ヶ所 約 140 m ²
	給食施設	1ヶ所 約 270 m ²	洗濯施設	1ヶ所 約 13 m ²
	給水施設	116 t 受水槽	暖房施設	空調機、FCU
	汚物処理施設	8ヶ所 約 47 m ²		
	分べん室	1ヶ所 約 19 m ²	新生児の入浴施設	2ヶ所 約 10 m ²
	機能訓練室	1ヶ所 約 122 m ²	談話室	7ヶ所 約 170 m ²
食堂	1ヶ所 約 180 m ²	浴室	5ヶ所 約 85 m ²	
病室	6床室	34室 約 1,462 m ²	4床室	2室 約 86 m ²
	1床室	90室 約 1,406 m ²	床室	室 m ²
	床室	室 m ²	床室	室 m ²
その他の施設	ICU8床			
階段、エレベーター	室内直通階段	4ヶ所、幅 1.2m、蹴上げ 18 cm、踏面 27 cm		
	避難階段	4ヶ所	エレベーター	5ヶ所
放射線関係備	診療用エックス線装置	有 (直接撮影装置、間接撮影装置 透視装置、CTスキャナー、その他 (マンモグラフィ))		無
	診療用高エネルギー放射線発生装置	有 (直線加速装置、ベータトロン、 (リニアック、ライナック)、その他 ())		無
	診療用放射線照射装置	有 (⁶⁰ Co 照射装置、 ¹²³ I 骨成分分析装置、 その他 ())		無
	診療用放射線照射器具	有 (管、針、球、ビーズ、板、アプリケーションター、 その他 ()、使用核種 ())		無
	診療用放射線同位元素	有 ((使用核種) ⁶⁷ Ga・ ^{99m} Tc・ ¹²³ I・ ¹³¹ I・ ¹¹¹ In ¹³³ Xe・ ²⁰¹ Tl・ ⁸¹ Rb・ ^{81m} Kr・ ⁹⁹ Mo・ ¹⁸ F・ ⁸⁹ Sr)		無
臨床検査施設	自動分析器、超音波装置等	消毒施設	洗浄機、オートクレーブ等	

消防用施設	スプリンクラー、連結送水管、 泡消火	防火施設	防火戸
その他の施設			

(2) - 2 施設及び構造施設に関する事項 (六甲アイランド 甲南病院変更後)

法定施設	診察室	27ヶ所 約 334 m ² (科目: 循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/精神科/消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/産婦人科/形成外科/歯科口腔外科)			
	処置室	10ヶ所 約 161 m ² (科目: 循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/リウマチ科/消化器内科/内科/神経内科/腫瘍・血液内科/緩和ケア内科/放射線科/小児科/皮膚科/精神科/消化器外科/乳腺外科/心臓血管外科/呼吸器外科/整形外科/リハビリテーション科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/泌尿器科/産婦人科/形成外科/歯科口腔外科)			
	手術室	1ヶ所 約 36 m ²	臨床検査施設	4ヶ所 約 259 m ²	
	エックス線装置	5台			
	調剤所	1ヶ所 約 90 m ²	消毒施設	1ヶ所 約 140 m ²	
	給食施設	1ヶ所 約 270 m ²	洗濯施設	1ヶ所 約 13 m ²	
	給水施設	116 t 受水槽		暖房施設	空調機、FCU
	汚物処理施設	8ヶ所 約 47 m ²			
	分べん室	0ヶ所 m ²	新生児の入浴施設	0ヶ所 m ²	
	機能訓練室	1ヶ所 約 122 m ²	談話室	7ヶ所 約 170 m ²	
食堂	1ヶ所 約 180 m ²	浴室	5ヶ所 約 85 m ²		
病室	4床室	28室 約 1,260 m ²	1床室	69室 約 1,587 m ²	
	床室	室 m ²	床室	室 m ²	
	床室	室 m ²	床室	室 m ²	
その他の施設					
階段、エレベーター	室内直通階段	4ヶ所、幅 1.2m、蹴上げ 18 cm、踏面 27 cm			
	避難階段	4ヶ所	エレベーター	5ヶ所	
備設	線	有 (直接撮影装置、間接撮影装置) ・ 無			
	関	有 (透視装置、CTスキャナー、その他 (マモグラフィ)) ・ 無			
	診療用エックス線装置	有 (直線加速装置、ベータトロン、(リニアック、ライナック)、その他 ()) ・ 無			
	診療用高エネルギー放射線発生装置				

	診療用放射線 照射装置	有 (⁶⁰ Co 照射装置、 ¹²³ I 骨成分分析装置、) ・ <input type="checkbox"/> 無 その他 ()		
	診療用放射線 照射器具	有 (管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、) ・ <input type="checkbox"/> 無 その他 ()、使用核種 ()		
	診療用放射線 同位元素	有 ((使用核種)) ・ <input type="checkbox"/> 無		
	臨床検査施設	自動分析器、超音波装置等	消毒施設	洗浄機、オートクレーブ等
	消防用施設	スプリンクラー、連結送水管、 泡消火	防火施設	防火戸
	その他の施設			

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員	職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員
	前	後				前	後		
医 師	28	20.8	22	67.6	薬 剤 師	9.4	6	6	11.8
歯 科 医 師	5	2	2	5	栄 養 士	1	1	4	5
看 護 師	102.6	67.9	125	236.7	放射線技師			10	11
准 看 護 師			1	1	調 理 師			0	0
看 護 補 助 者	0	0	47	27.7	事 務 員			20	41.6
臨床(衛生)検査技師			13	16.2	そ の 他			36.2	25.7
理学療法士					11	9	計	302.2	
作業療法士	5	5							

(4) 人員算定根拠 (計算式) 必要数

(前) 平均入院患者数 : 253 床 (一般 253 床) 外来患者数 : 550 名

上記内 : 4 床 (歯科入院患者数) 上記患者数 : 40 名 (歯科外来患者数)

(後) 平均入院患者数 : 154 床 (85%稼働 一般 154 床) 外来患者数 : 500 名

上記内 : 0 床 (歯科入院患者数) 上記内 : 40 名 (歯科外来患者数)

医師 療養患者数/3 + 一般入院患者数 + 外来患者数/2.5 = A

(A - 52) / 16 + 3 = 標準医師数

前 (253 - 4) + (550 - 40) / 2.5 = 249 + 204 = 453

(453 - 52) / 16 + 3 = 28

後 (154 - 0) + (500 - 40) / 2.5 = 154 + 184 = 338

(338 - 52) / 16 + 3 = 20.8

歯科医師 療養患者数 + 一般入院患者数 = A 実状必要数 = 外来患者数/20

(A - 52) + 3 = 標準医師数

前 (4 - 52) / 16 + 3 = 3 標準医師数 + 実状必要数 = 3 + 40/20 = 5

後 標準医師数 + 実状必要数 = 0 + 40/20 = 2

看護師 療養患者数/4 + 一般入院患者数/3 + 外来患者数/30

前 253/3 + 550/30 = 84.3 + 18.3 = 102.6

後 154/3 + 500/30 = 51.3 + 16.6 = 67.9

看護補助 療養患者数/4

後 0

薬剤師 療養入院患者数/150 + 一般入院患者数/70 + 外来処方箋数/75

外来処方箋数 : 前 440 後 285

前 253/70 + 440/75 = 3.6 + 5.8 = 9.4

後 154/70 + 285/75 = 2.2 + 3.8 = 6

栄養士 100 床以上 1 名以上

(5) 関係者との協議に関する事項

関 係 者	協 議 状 況
地 元 医 師 会	11月1日、東灘区医師会の意見書取得済み
市保健医療審議会 医療専門分科会	11月9日開催の専門分科会で審議予定
そ の 他	10月22日、六甲アイランドCITY自治会役員会で説明済み

注) 地元医師会、医療専門分科会については、予防衛生課等が意見を聞き意見書等を添付すること。

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書
(六甲アイランド甲南病院)

病院名	一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院	所在地	神戸市東灘区向洋町中 2-11		
電話番号	078-858-1111	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色 (提供しようとする医療の内容)

(1) 医療の分野について (対象患者、診療科目等について)

入院診療では、地域包括ケアの一翼を担うことを使命とし、リハビリテーションを強化し甲南病院を含めた急性期医療機関から回復期の患者の受け入れをおこない在宅医療へ繋げていくことを中心とするが、肺炎や圧迫骨折等による入院についても受け入れをおこなう。

救急告示は継続する。なお、現在参加している病院群輪番制については、内科は継続するが、外科・循環器内科・整形外科・小児科はその機能を甲南病院へ引き継ぐ。

外来診療については、甲南病院と同じ標榜診療科 (内科や外科を専門細分化することで、標榜診療科を 20 から 29 に増やす。) とすることで、これまで以上に充実を図る。また、甲南病院の医師による応援体制を基本として維持し、手術が必要な患者や重症患者、高度な検査が必要な患者は、当院で用意する搬送車で甲南病院へ搬送した上で治療に当たる。

人間ドック等健診については、その機能を拡充する。

(2) 医療の専門性について (設備・医療スタッフ等についても記入すること。)

次に掲げる 3 の診療センターの充実を図る。

- ・血液浄化センター (4 階を全て透析施設とする。)
- ・リハビリテーションセンター (屋外を含めて 5 階を全てリハビリ施設とする。)
- ・健診センター

次に掲げる放射線診断機器については、維持及び整備を行う。

- ・MRI (1 台) ・CT (1 台) ・X線TV (3 台) ・X線 (2 台) ・マンモグラフィ (1 台)
- ・DEXA (1 台)

医療スタッフは、医師 24 人、薬剤師 6 人、看護師・准看護師 126 人、看護補助者 47 人、臨床検査技師 13 人、放射線技師 10 人、理学療法士 11 人、作業療法士 5 人、栄養士 4 人、事務その他 56.2 人のトータル 302.2 人体制で対応する。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸	東灘区・灘区
阪神南	芦屋市

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

現在、厚生労働省では団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる「2025年モデル」の構築を目指しているが、現状は回復期の入院医療を担う病床数は不足している。また、急性期病院では受け入れが出来ない患者（入院を必要とする透析患者）の入院医療の需要は、これから高齢化が進む中、増大すると考えている。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
甲南病院	380	全科	急性期と回復期に機能分化	
東神戸病院	166	リハビリ	需要>供給（現状維持）	
宮地病院	88	リハビリ	需要>供給（現状維持）	
住吉川病院	45	透析	需要>供給（現状維持）	

② 診療所の状況について

近隣の開業医とは、東灘区医師会を通じて情報交換や研修を行っている。また、当院では地域医療連携室を設置しており、患者紹介のあった開業医への返書管理や広報誌の送付等情報交換を密にしている。その他、中央放射線部においては、開業医のニーズが高いCTやMRI検査について24時間何時でも受付を行っている。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

患者の中心は東灘区の住民となる。同区の人口は現在214千人になるが、急性期（DPC）病院は、甲南病院と六甲アイランド甲南病院の2病院のみである。しかし、どちらの病院も全ての診療科の医師が充足していることはなく、多くの患者が中央区へ流れている。この度、甲南病院を急性期医療中心の480床にすることにより、当院はその後方（回復期）を担う病院としての需要は大きいと考えている。また、両隣の灘区（人口137千人）や芦屋市（人口95千人）の人口を合わせると人口は446千人に及ぶが、この地域に限定すると人口に比べて病院（病床数）は少ないと考えている。

3. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

・救急医療については、救急告示は継続する。なお、現在参加している病院群輪番制については、内科は継続するが、外科・循環器内科・整形外科・小児科はその機能を甲南病院へ引き継ぐ。

・休日や時間外の診療については、医師（2名）の当直体制をとった上で、専門回線でつながると共に電子カルテは相互閲覧可能な甲南病院と連携をとり治療に当たる。なお、心筋梗塞・脳卒中・緊急手術等専門的な医療が必要な場合に、自院で用意する緊急搬送車で甲南病院へ搬送する体制も整備する。

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例
神戸大学医学部附属病院	①⑨	回復期の入院患者の受け入れ
神戸市立医療センター中央市民病院	①⑨	回復期の入院患者の受け入れ
神戸赤十字病院（災害医療センター）	①⑨	回復期の入院患者の受け入れ
神戸労災病院	①⑨	回復期の入院患者の受け入れ
神鋼病院	①⑨	回復期の入院患者の受け入れ
東神戸病院	①	
宮地病院	①	
住吉川病院	①	
甲南病院	①②③④⑤⑨	（甲南会開設）
開業医	①④⑤⑦	医師会症例検討会

（注）内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
 ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
 ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
社会福祉法人協同の苑	入院患者の後方支援	
特別養護老人ホーム ちくさの郷	入院患者の後方支援	
特別養護老人ホーム サンライフ魚崎	入院患者の後方支援	
介護老人保健施設 すばるの郷	入院患者の後方支援	
介護老人保健施設 アネシス御影	入院患者の後方支援	
介護付有料老人ホーム エレガーノ甲南	入院患者の後方支援	
ケアハウスこうべ甲南	入院患者の後方支援	
ソーシャルコート今津	入院患者の在宅支援	サ高住
訪問看護ステーションメリー	入院患者の在宅支援	
甲南介護老人保健施設	入院患者の後方支援	(甲南会開設)
甲南訪問看護ステーション	入院患者の在宅支援	(甲南会開設)

(注) 医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加(住民の健康管理等)

地域住民向け公開講座の開催

4. その他の特記事項

- ・現在、甲南病院と六甲アイランド甲南病院それぞれが兵庫県より基幹型医師臨床研修病院(定員6名)の指定を受けているが、平成32年度からその機能を甲南病院に集約する
- ・現在、六甲アイランド甲南病院で行っている東灘消防署との年2回の症例検討会及び救急救命士の研修は、平成32年4月に甲南病院へその機能を移す。
- ・甲南病院と六甲アイランド甲南病院は、直行シャトルバスで繋ぐ。

六甲アイランド甲南病院

開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項目	所要額	自己資金	借入金		リース	備考
			福祉医療機構	三井住友銀行		
土地購入費						
設計管理費						
建物建設費						
医療機器購入費						
什器備品購入費						
保証金						
諸税						
開設運転資金						
その他費用						
計	0	0	0	0	0	

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置期間	償還回数 年×年	利率 %		22年4月 ~23年3月	23年4月 ~24年3月	24年4月 ~25年3月	25年4月 ~26年3月	26年4月 ~27年3月
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合計				元本	0	0	0	0	0
				利息	0	0	0	0	0
年度末借入金残額									

損益的収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (22年4月～23年3月)	次年度 (23年4月～24年3月)	3年度 (24年4月～25年3月)	4年度 (25年4月～26年3月)	5年度 (26年4月～27年3月)
I 医業収益	3,976,000	3,988,000	3,983,000	3,983,000	3,983,000
II 医業費用	3,898,000	3,897,000	3,873,000	3,860,000	3,857,000
医業利益(医業損失)	78,000	91,000	110,000	123,000	126,000
III 医業外収益	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
IV 医業外費用	96,000	96,000	96,000	96,000	96,000
経常利益(経常損失)	42,000	55,000	74,000	87,000	90,000
V 特別利益					
VI 特別損益					
税引前当期利益(税引前当期損失)	42,000	55,000	74,000	87,000	90,000
当期純利益(当期純損失)	35,485	48,485	67,485	80,485	83,485
前期繰越利益(前期繰越損失)	▲ 9,069,551	▲ 9,034,066	▲ 8,985,581	▲ 8,918,096	▲ 8,837,611
当期末処分利益(当期末処理損失)	▲ 9,034,066	▲ 8,985,581	▲ 8,918,096	▲ 8,837,611	▲ 8,754,126

資本的収支予算書

（単位：千円）

		初年度 (22年4月～23年3月)	次年度 (23年4月～24年3月)	3年度 (24年4月～25年3月)	4年度 (25年4月～26年3月)	5年度 (26年4月～27年3月)
資本的支出	建設改良費					
	借入金(元本)償還					
	固定資産購入費その他	100,000	100,000	300,000	100,000	100,000
	計	100,000	100,000	300,000	100,000	100,000
財源内訳	内部資金	249,485	258,485	284,485	284,485	284,485
	借入金					
	補助金					
	その他					
	計	249,485	258,485	284,485	284,485	284,485
財源不足額		149,485	158,485	▲ 15,515	184,485	184,485